

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学10							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・夜間部	2年	2期	池田 晃一		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
治療が難しいとされる手指関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の各疾患における、病態把握、診断方法、治療法を体系的に学習する。座学講義ではあるが、臨床現場での対応を充分イメージできるように様々な症例を紹介しながら講義を展開していく。							
目標							
<b>一般目標 (GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	柔道整復師として手指関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の疾患を正しく理解できるようになるために、判断・治療・予後評価に必要な基礎的知識を習得するとともに、それに必要な臨床的技量と態度を身につける。						
	<b>到達目標 (SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 手指関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の原因を列挙できる。 2. 手指関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の発生機序を聴取することができる。 3. 手指関節周囲の骨折・脱臼・打撲・捻挫等の患者の整備、固定方法を理解することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
手指関節周囲の解剖学から得た知識により受傷機転や損傷箇所を理解する。配布資料を基に予習をして受講時に理解度を確認する。							
教科書・参考書							
『柔道整復学・理論編 第6版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂) 『柔道整復学・実技編 第2版』(公社)全国柔道整復学校協会(南江堂)							
受講上の注意							
使用教科書及び配布資料必携。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合 (%)	90					10	100
回数	授業内容				教科書	教材・持ち物	
第1回	手指関節部の損傷(手の解剖と機能)				P.325～P.327	教科書・筆記用具	
第2回	手指関節部の損傷(中手骨骨折)				P.328～P.330	教科書・筆記用具	
第3回	手指関節部の損傷(中手骨骨折)				P.330～P.332	教科書・筆記用具	
第4回	手指関節部の損傷(手根中手関節脱臼)				P.332～P.333	教科書・筆記用具	
第5回	手指関節部の損傷(指骨骨折)				P.334～P.337	教科書・筆記用具	
第6回	手指関節部の損傷(指骨骨折)				P.337～P.339	教科書・筆記用具	
第7回	手指関節部の損傷(中手指関節脱臼)				P.339～P.341	教科書・筆記用具	
第8回	手指関節部の損傷(指節間関節脱臼・軟部組織損傷)				P.341～P.345	教科書・筆記用具	
第9回	手指関節部の損傷(軟部組織損傷)				P.345～P.350	教科書・筆記用具	
第10回	定期試験					筆記用具	
実務経験と本講義との関連について							
接骨院を開業し四半世紀以上、主に四肢の骨折や軟部組織損傷の症例について施術した経験から、当科目の肘部損傷について講義します。							
メールアドレス							
ikedata@nihonisen.ac.jp							